

③ 陽性者の療養について考えましょう。

- 陽性となった方への対応は、①の8頁の①の表を参考に接触度に応じて个人防护具（エプロン、ガウン、マスク、手袋、フェイスシールド、キャップ）を着用してください。
- 陽性者を個室へ移動してください。複数人の陽性者がいる場合には可能な限り同じ部屋に集めましょう。
※ 動かすことが困難な場合は、そのままの居室で待機することもあります。
- 高頻度に不特定多数が接触する箇所（ドアノブ、手すり、スイッチ、テーブル、ベッド柵、電話、ナースコール、パソコンなど）は、定期的（1日2回程度）に清拭消毒を実施しましょう。
- 換気を定期的（30分に1回、数分間程度）に行いましょう。（25頁参照）



3つの密を避けるための手引き！（厚生労働省）

■ 濃厚接触者について

※ 感染症法上の濃厚接触者の特定はなくなりました。

濃厚接触者として法律に基づく外出自粛はもとめられませんが、重症化リスクの高い高齢者の入所施設においては、施設内におけるさらなる感染拡大を防ぐため濃厚接触者のリストアップと感染対策の実施を検討しましょう。

濃厚接触の考え方

「感染するかもしれない期間

(感染可能期間：発症2日前)」に、陽性者と

- ・ 距離が1 m以内+マスクなし+15分以上の接触がある場合

濃厚接触者は、陽性者と接触した最終日を0日として、7日目までは発症及び他の人に感染させる可能性があります。

濃厚接触者の健康観察期間は、有症状時などでは検査の実施や、職員は就業制限を実施するなど、十分ご注意ください。

例 陽性者の発症が6月1日の場合

5/30	5/31	6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7	6/8
発症2日前 濃厚接触最終日		陽性者 発症日	発症する可能性がある期間						
	発症1日前 濃厚接触最終日	発症する可能性がある期間							
		濃厚納 接触最終日	発症する可能性がある期間						

* 施設内では職員・利用者間で「感染を広げない対策」が重要です。